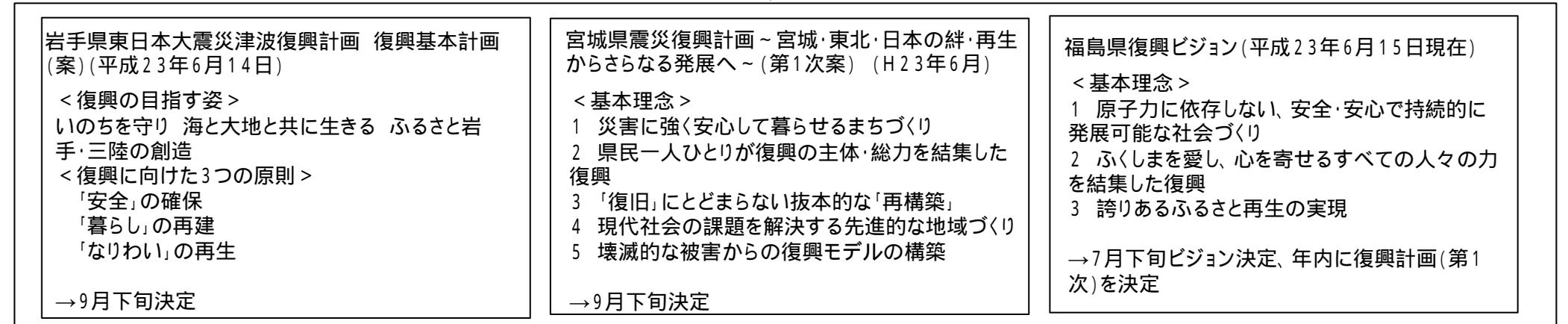
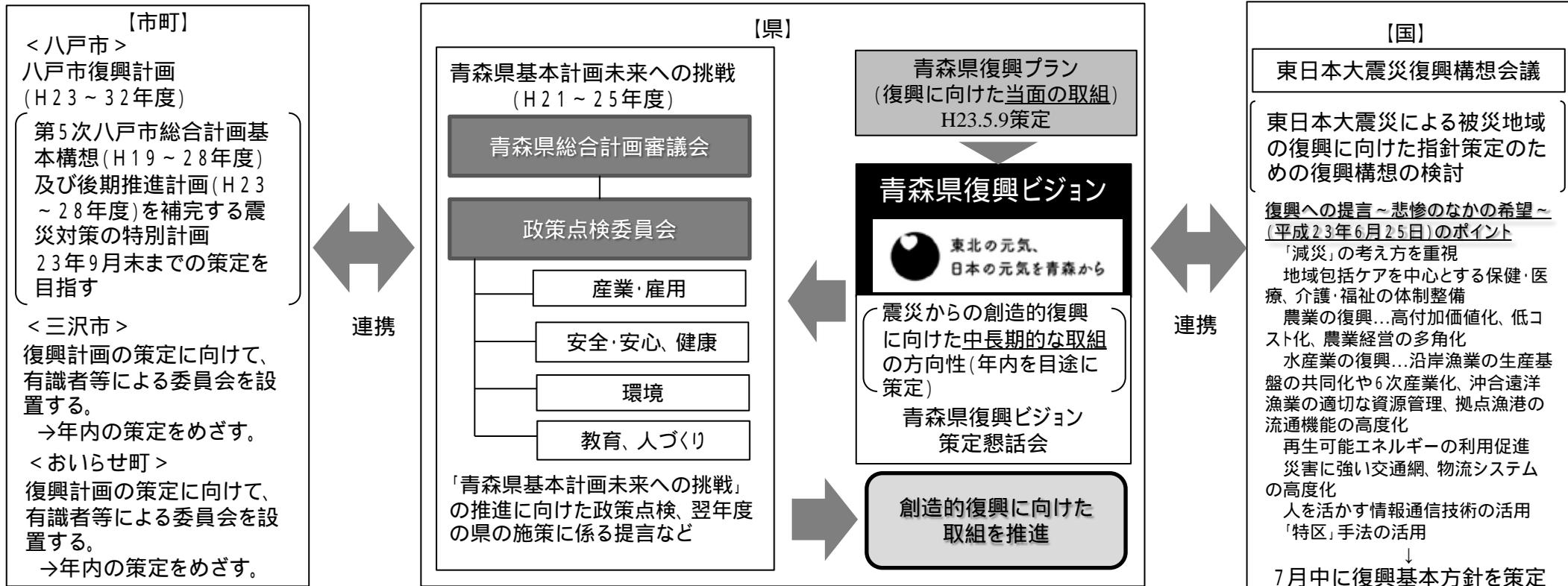


復興関係のビジョン等の相関図



## 第1回懇話会における意見等を踏まえた主な論点

## 1 ビジョンの理念・方向性

論点	第1回懇話会での主な意見	創造的復興に向けた検討事項（事務局案）
□どのような考え方に立って、創造的復興に取り組むべきか。	<p>○時代を反映する、10年先を反映するようなキーワードが必要。</p> <p>○北東北の中での青森県の役割という視点での検討が必要（広域連携、道州制）。</p> <p>○これまでの施策を復興という視点で集大成すべき。</p> <p>○県民一人ひとりが何の役に立てるのが明らかにできればいいのではないか。</p> <p>○県内自治体の復興計画や他県の動きとの整合性を図ることが必要。</p>	<p>○創造的復興に向けた理念</p> <p>○10年先を見据えたキーワード</p> <p>グローバル化、新興国の台頭、地球規模の人口爆発、食料・エネルギー・水の需給ひっ迫、地球温暖化、国内の人口減少、少子化、超高齢社会の到来、生産年齢人口の減少、企業の中核機能の分散化、供給網の多重化、さらなる省エネの浸透、被災地の復興、地方分権、情報を始めとする各分野でのさらなる技術革新、新幹線新函館開業</p>

## 2 産業復興

論点	第1回懇話会での主な意見	創造的復興に向けた検討事項（事務局案）
<p>□豊かな農林水産資源を活かした我が国の食料基地としての本県の役割</p> <p>□復興に向けた新しい水産業のあり方</p>	<p>○青森県の農林水産物は原材料として売られている場合が多い。6次産業化を図らなければいけない。</p> <p>○八戸漁港は、現在、三陸で唯一まともに使える漁港として存在。</p> <p>○魚はたくさん獲れるが、時期が集中するため、それを生で出すのか凍結するのか。凍結するとしても、現在の凍結能力では対応しきれない。一方で、凍結設備は民間ではなかなかペイしない。</p> <p>○一次産品を含めた輸出産業を大きく位置付けるべき。</p> <p>○放射線検査マニュアルの策定が必要。</p>	<p>○本県が、我が国の食料基地としての役割を維持・拡大していく上での課題と方向性</p> <p>○農商工連携・6次産業化の推進に向けた課題と方向性</p> <p>○八戸漁港の活用や本県の新しい水産業のあり方</p> <p>○農林水産品の輸出拡大に向けた課題と方向性</p>
<p>□東北復興に向けた本県の観光の役割</p>		<p>○優れた農林水産物や郷土料理など豊富な観光資源の活用や新たな資源の発掘に向けた課題と方向性</p> <p>○外国人観光客の誘客に向けた課題と方向性</p> <p>○観光消費額の拡大に向けた課題と方向性</p>
<p>□再生可能エネルギー、新エネルギーの活用、省エネの推進</p>	<p>○青森に適したエネルギーネットワークのシステム構築に向けた議論が必要。</p>	<p>○再生可能エネルギーなど青森に適したエネルギーネットワークシステムの構築に向けた課題と方向性</p> <p>○低炭素型のライフスタイル実現に向けた課題と方向性</p>
<p>□震災を契機とした、本県の強みを活かした新産業のあり方</p>	<p>○他県から人を呼べるような新エネルギーへの取組の姿勢を明確に示し、アピールしていくことが必要。</p> <p>○雇用をいかに確保するかということが非常に大事な論点。</p> <p>○各種支援策は制約が多く、有効に活用しがたい。</p> <p>○廃棄物のリサイクルなど、川上からばかりではなく、川下から考えていくことも重要である。</p>	<p>○本県の強みを活かした新たな産業の可能性</p> <p>○本県における新エネルギー導入に向けた課題と方向性</p> <p>○災害廃棄物のリサイクルなど先進的な循環型社会の形成に向けた課題と方向性</p>

### 3 インフラの整備・活用

論点	第1回懇話会での主な意見	創造的復興に向けた検討事項（事務局案）
<input type="checkbox"/> 北東北の物流拠点としての本県の役割	<p>○八戸港の機能・サービス向上（24時間営業など）についても検討が必要。</p> <p>○新幹線、高速道路、港湾、空港がそろっているのは、東北では仙台と八戸だけ。この使い方をどうしていくのか、ということを議論していく必要がある。</p> <p>○八戸の港の復興の早さをもっとアピールしていったらどうか。</p> <p>○北米に一番近い港として、飼料のターミナルもあり、八戸に物を集めて、物を出していく、そういう位置付けが非常に大切になってくる。</p>	<p>○日本海側と太平洋側両方に陸海空の物流拠点を持つ青森県の潜在能力の高さを産業振興に活かしていくための課題と方向性</p> <p>○ロシア、中国、韓国などを見据え、八戸港を北東北のハブ港としていくための課題と方向性</p> <p>○本県が北東北の物流拠点としての立場を確立していく上での課題と方向性</p> <p>○災害に強い物流体系を構築していく上での課題と方向性</p>
<input type="checkbox"/> 災害に強いまちづくり（減災）のためのインフラ整備のあり方		<p>○災害に強い（減災）のためのインフラ整備を進めていく上での課題と方向性</p>
<input type="checkbox"/> 避難路の整備や避難所の機能強化		<p>○孤立集落をつくらないための避難路の整備、避難所の機能強化のあり方</p>

#### 4 情報関連

論点	第1回懇話会での主な意見	創造的復興に向けた検討事項（事務局案）
□情報の発信	○災害時の正確な情報の収集と発信。 ○風評被害の防止や農林漁業者の不安解消のための正しい情報の的確な発信。 ○新しい情報ツールの活用。	○災害時における情報の収集・伝達・発信のあり方 ○的確な情報の発信に向けた課題と方向性

## 5 災害対策関連

論点	第1回懇話会での主な意見	創造的復興に向けた検討事項（事務局案）
□災害時を想定した保健・医療・福祉サービス提供体制のあり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害時における医療機関の停電対策、通信手段の確保。</li> <li>○医療機関への自家発電設備導入の支援が必要。</li> </ul>	○災害時における保健・医療・福祉施設の機能確保に向けた課題と方向性
□自主防災組織の強化、防災教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>○防災意識の普及啓発に向けた課題と方向性</li> <li>○自主防災組織の強化に向けた課題と方向性</li> </ul>
□その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○従来の社会システムが機能しなくなったときにシステムを乗り越えるための基本的な理念の議論が必要。</li> <li>○基礎的自治体の機能が破壊されたときにどう対応していくか。</li> <li>○災害時を想定したエネルギーのシステムづくりが必要。</li> </ul>	